

【参考資料】

「みえ産業振興戦略」の取組状況

平成26年5月20日

「みえ産業振興戦略」の取組状況(6つの目標値)

①ものづくり産業の付加価値を維持・強化
[県内製造業の付加価値額・順位]

戦略策定時 2.3兆円:全国11位 **↑** 平成24年度実績 2.7兆円:全国9位

製造業の付加価値額の都道府県順位

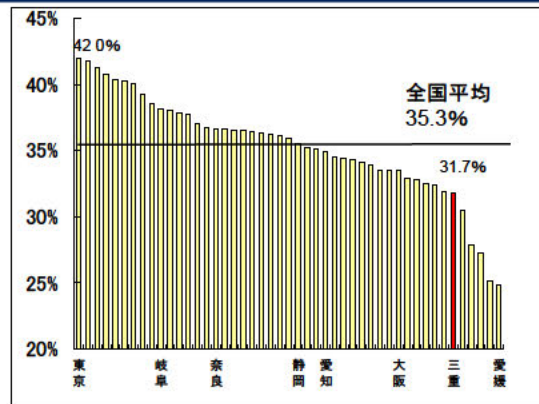
【平成21年】	(百万円)	金額	【平成24年】	(百万円)	金額
1	愛知	8,793,408	1	愛知	11,938,481
2	大阪	5,269,689	2	静岡	5,463,759
3	静岡	4,973,224	3	大阪	5,136,675
4	神奈川	4,476,465	4	神奈川	4,870,438
5	埼玉	4,155,976	5	兵庫	4,351,897
6	兵庫	4,065,873	6	埼玉	4,123,273
7	東京	3,061,130	7	茨城	3,483,711
8	茨城	2,732,714	8	東京	3,328,323
9	千葉	2,627,945	9	三重	2,755,646
10	福岡	2,341,621	10	千葉	2,534,041
11	三重	2,316,871	11	群馬	2,464,465
12	栃木	2,275,769	12	広島	2,326,648
13	群馬	2,207,958	13	栃木	2,319,108
14	滋賀	2,202,235	14	福岡	2,267,625
15	広島	2,143,846	15	滋賀	2,259,825

出典) 経済産業省「工業統計調査」から作成

27年度目標値 2.4兆円:全国10位

②ものづくり中小企業の付加価値率を向上
[県内製造業・中小企業の付加価値率]

戦略策定時 31.5%(全国42位) **↑** 平成24年度実績 31.7%(全国42位)

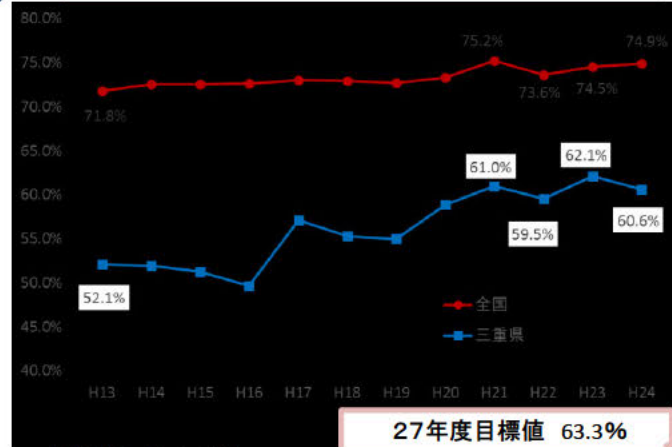


平成24年「工業統計調査」から作成

27年度目標値 35.2%

③サービス産業(広義)の付加価値構成比向上
[総生産に占めるサービス産業(広義)の割合]

戦略策定時 61.0%(全国75.2%) **↓** 平成24年度実績 60.6%(全国74.9%)



戦略策定時(H21)の数値が変更となっている

27年度目標値 63.3%

④労働力人口に占める就業者割合を向上
[就業者/労働力人口の全国順位]

戦略策定時 96.0%(全国6位) **↑** 平成25年度実績 96.8%(全国5位)

	労働力人口(千人)	就業者(千人)	就業者割合	
1	高知県	378	367	97.1%
2	福井県	424	410	96.7%
3	岐阜県	1,118	1,076	96.2%
4	静岡県	2,070	1,989	96.1%
5	富山県	583	560	96.1%
6	三重県	958	920	96.0%
7	長野県	1,172	1,125	96.0%
8	山口県	720	691	96.0%
9	香川県	514	493	95.9%
10	鳥取県	316	303	95.9%
全国	66,022	62,707	95.0%	

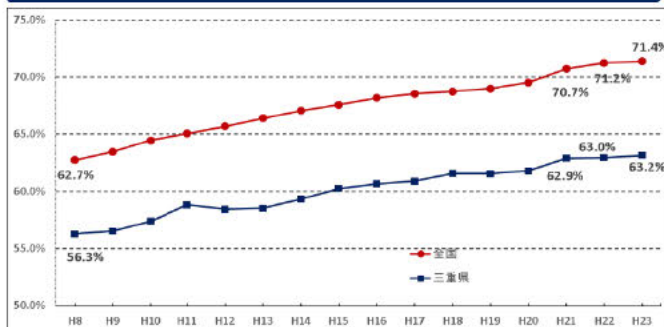
	労働力人口(千人)	就業者(千人)	就業者割合	
1	福井県	420	409	97.4%
2	鳥取県	354	344	97.2%
3	富山県	564	547	97.0%
4	岐阜県	1,073	1,040	96.9%
5	三重県	950	920	96.8%
6	山形県	601	582	96.8%
7	愛知県	3,988	3,861	96.8%
8	香川県	499	483	96.8%
9	滋賀県	741	717	96.8%
10	静岡県	2,002	1,937	96.8%
全国	65,700	63,123	96.1%	

出典) 総務省「労働力調査」から作成

27年度目標値 97.5%

⑤サービス産業(広義)の就業者構成を向上
[サービス産業に従事する就業者の割合]

戦略策定時 62.9%(全国70.7%) **↑** 平成23年度現在 63.2%(全国71.4%)



内閣府「県民経済計算」から作成

※統計数値の変更により、戦略策定時(H21)の数値が変更となっている

27年度目標値 65.2%

⑥共感者(魅力と感じる人)の割合(※)を向上

戦略策定時 40.0% **↑** 平成25年度実績 53.0%

※首都圏等における県事業を通じて把握した、三重が魅力ある地域であると感じる人の割合

27年度目標値 60.0%

「みえ産業振興戦略」の取組状況(その他の参考指標)

①県内製造品出荷額

戦略策定時 9.3兆円:全国9位 **↑** 平成24年度実績 10.1兆円:全国9位

製造品出荷額等の都道府県順位

【平成21年】	(百万円)	金額	【平成24年】	(百万円)	金額
1	愛知	34,431,322	1	愛知	40,033,226
2	静岡	15,050,953	2	神奈川	17,461,302
3	神奈川	14,868,385	3	大阪	16,022,741
4	大阪	14,806,158	4	静岡	15,707,724
5	兵庫	13,423,028	5	兵庫	14,347,022
6	千葉	12,345,845	6	千葉	12,388,483
7	埼玉	11,774,761	7	埼玉	12,139,338
8	茨城	9,779,425	8	茨城	11,097,744
9	三重	9,374,584	9	三重	10,136,969
10	東京	8,023,647	10	広島	8,342,810
11	広島	7,917,797	11	福岡	8,333,733
12	福岡	7,767,530	12	東京	8,198,209
13	栃木	7,679,672	13	岡山	7,628,040
14	群馬	6,706,669	14	群馬	7,452,663
15	岡山	6,611,585	15	栃木	7,434,120

出典) 経済産業省「工業統計調査」から作成

②製造業(大企業含む)の付加価値率

戦略策定時 24.7%(全国44位) **↑** 平成24年度実績 27.2%(全国37位)

製造業の付加価値率の都道府県順位

【平成21年】	【平成24年】
1 徳島 44.9%	1 徳島 44.7%
2 青森 39.5%	2 東京 40.6%
3 東京 38.2%	3 秋田 39.5%
4 京都 37.1%	4 山梨 38.5%
5 長野 36.9%	5 青森 38.3%
...	...
39 和歌山 27.4%	33 愛知 29.8%
40 広島 27.1%	34 神奈川 27.9%
41 山口 26.5%	35 広島 27.9%
42 岡山 25.8%	36 福岡 27.2%
43 愛知 25.5%	37 三重 27.2%
44 三重 24.7%	38 宮城 27.1%
45 愛媛 23.7%	39 香川 26.6%
46 大分 22.0%	40 山口 25.4%
47 千葉 21.3%	41 岩手 24.7%
...	...
全国平均 30.3%	全国平均 30.3%

出典) 経済産業省「工業統計調査」より作成から作成

③製造業の労働生産性の都道府県別順位

戦略策定時 12,193千円/人(全国6位) **↑** 平成24年度実績 14,670千円/人(全国6位)

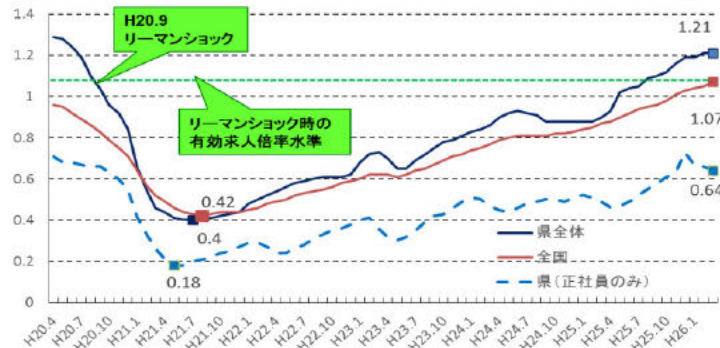
製造業の労働生産性の都道府県別順位

【平成21年】	(単位:千円/人)	金額	【平成24年】	(単位:千円/人)	金額
1 山口 14,963	1 和歌山 17,136				
2 滋賀 14,851	2 山口 16,938				
3 徳島 14,631	3 徳島 15,774				
4 和歌山 13,460	4 滋賀 15,630				
5 千葉 12,203	5 愛知 15,517				
6 三重 12,193	6 三重 14,670				
7 静岡 12,084	7 大分 13,930				
8 京都 11,861	8 静岡 13,878				
9 岡山 11,657	9 神奈川 13,265				
10 群馬 11,509	10 茨城 13,091				
11 神奈川 11,499	11 千葉 12,748				
12 栃木 11,436	12 京都 12,684				
13 兵庫 11,205	13 群馬 12,667				
14 香川 11,117	14 兵庫 12,445				
15 愛知 10,972	15 栃木 12,259				
...	...				
全国平均 10,383	全国平均 10,981				

出典) 経済産業省「工業統計調査」から作成
※労働生産性=付加価値額÷従業員数

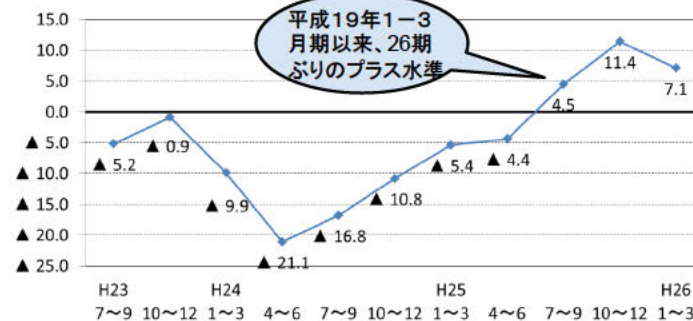
④有効求人倍率

戦略策定時 0.92倍(全国0.81倍) **↑** 現在(H26.3) 1.21倍(全国1.07倍)



⑤法人企業景気予測調査

戦略策定時 景況判断BSI △16.8 **↑** 現在 景況判断BSI 7.1



※景況判断BSI=景況が「上昇」とする企業の割合から「下降」とする企業の割合を引いた値。
東海財務局「法人企業景気予測調査」より

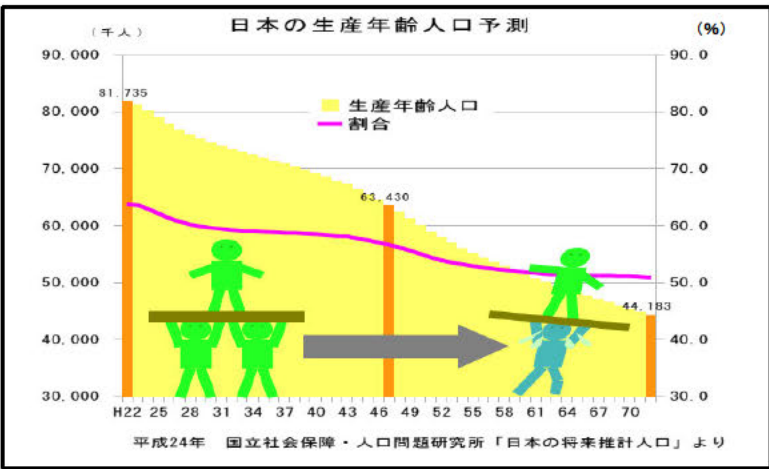
⑥その他(トピック)

三重県内の高校を今春卒業した**新卒者の就職内定率が99.2%**(前年同期比0.7ポイント増)となり、1995年以来19年ぶりに99%を超えた。

平成25年の倒産件数は、**直近の20年で最少の103件**となっている。

「みえ産業振興戦略」の取組状況

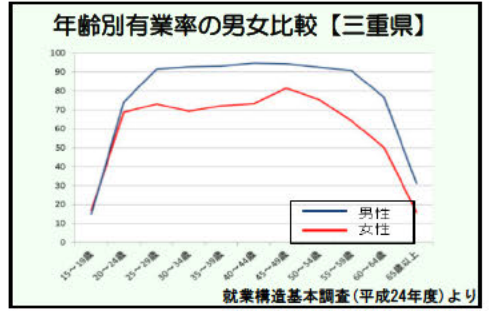
本格的な人口減少社会への突入



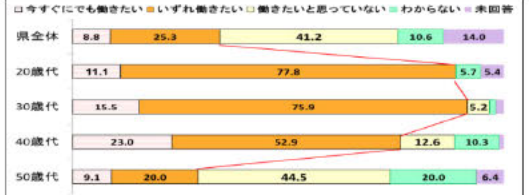
本格的な人口減少社会への突入 (予測)

- 生産年齢人口 8,173万人 (H22) → **4,418万人 (H72)**
 - 生産年齢人口の割合 64% (H22) → **51% (H72)**
- **労働の担い手の不足が深刻に**
- 「女性」、「障がい者」や「若者」のミスマッチの解消など、潜在的な労働力の労働市場への参入を促進する必要がある。
 - そのための環境整備が必要。

女性の就労意欲とM字カーブ

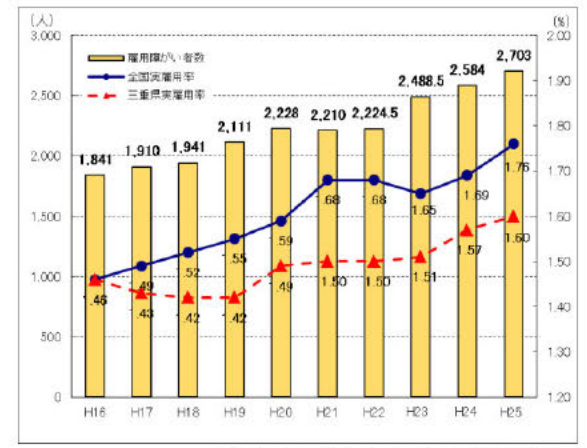


専業主婦の就労希望 (第2回みえ県民意識調査より)



「今すぐにも働きたい」と「いずれ働きたい」の合計割合は20歳代88.9%、30歳代91.4%、**若年層の専業主婦等の潜在的な就労ニーズは高い。**

障がい者雇用の状況



三重労働局「障害者雇用状況」集計結果より

雇用障がい者数(2,703人)、実雇用率(1.60%)ともに過去最高であり、改善されているものの全国平均との隔たりが大きく、全国的に見ても低迷(全国47位)

若年者の就労状況

○新規学卒就職者3年後の離職率

	中学	高校	短大	大学
三重県 (H21.3卒)	65.0%	30.8%	40.4%	35.3%
全国 (H21.3卒)	63.3%	36.4%	40.0%	29.4%

○新規学卒就職者3年以内の離職者数

三重県 3,005人 (H23.3卒~H21.3卒)
 全国 232,240人 (H23.3卒~H21.3卒)

厚生労働省「職業安定業務統計」より

「みえ産業振興戦略」の取組状況

6つの戦略に関するこれまでの取組と課題

戦略1 ものづくり戦略(メイド・イン・三重)

- ・国内外で戦い生き残っていくものづくり中小企業の育成(パッケージ化支援)
- ・「高度部材イノベーションセンター(AMIC)」などを活用した中小企業の「ものづくり基盤技術」の強化
- ・「成長産業」や「海外市場」への参入を促進
- ・ステータスの「見える化」
- ・技術的優位性の確保(知的財産に係る環境整備)



高度部材イノベーションセンター(AMIC)

これまでの取組

- ・出前商談会の開催により、県内中小・小規模企業と川下企業とのマッチングを進めるとともに、企業の生産現場における課題を整理・把握し、その解決に向けた支援を実施
- ・AMICにおいて、セミナー・サロンを活かした企業の技術課題解決や事業の具体化に向けたマッチング活動を展開
- ・工業研究所の職員及び、(公財)三重県産業支援センターの技術コーディネーターがきめ細かく県内中小・小規模企業を訪問し、企業の課題やニーズの掘り起こしを実施
- ・中小・小規模企業の取り組む研究開発・商品開発等を「メイド・イン・三重ものづくり補助金」で支援。また、国の支援策等についても、県内企業に広く周知。
- ・それぞれの得意技術、知識などを持ち寄り、複数の中小企業が、協働して課題を克服していく、中小企業連携体(シンジケート)の活動を支援
- ・県内中小企業・小規模企業の魅力を発信する「みえ産業企業選(仮称)」を検討。
- ・県内企業の特許出願に補助金を交付。県公設試においても特許を出願

課題

- ・出前商談会等は自動車関連の開催が中心であり、今後は多様な業種での開催が必要(例えば、航空機、サービスなど)
- ・ものづくり中小・小規模企業の開発力・生産力の向上を図ることが必要
- ・単独では解決が困難な技術的課題や経営課題に対応できる、
県内中小企業・小規模企業の連携体の組成・育成や
「成長産業」や「海外展開」への取組促進



「技術展示会in Honda館」

戦略2 サービス戦略～観光の産業化等～

- ・サービス産業の支援体制の強化
- ・高付加価値化経営への取組
- ・グローバルビジネスの振興
- ・地域資源を活用した商品の開発
- ・「コンシェルジュ」や「場所文化」を軸とした共感者づくり(首都圏営業拠点「三重テラス」の設置)



三重テラスでの「伊勢うどん満喫講座」

これまでの取組

- ・地域コミュニティの中核である商店街の活性化に向けた勉強会の開催や商店街独自の取組などに対する支援制度(補助金)の創設
- ・サービス産業の高付加価値化に向けた勉強会・改善活動の実施
- ・「地域コミュニティ応援ファンド」、「農商工連携応援ファンド」による地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援
- ・県内伝統産業・地場産業とデザイナーとの連携による新商品の開発
- ・首都圏営業拠点「三重テラス」における三重の営業活動
 - －市町や商工団体等とともにバリエーション豊かなイベントによる魅力発信
 - －ショップ販売を通じた商品のブラッシュアップ。
 - －首都圏での販路開拓をめざしたテストマーケティング
- ・三重県観光キャンペーンの取組による観光誘客の促進

課題

- ・高付加価値化に向けた取組を促す中核的人材育成や、次の世代を担う若手経営者の育成
- ・「商店街活性化」を通じた「まちづくり」、「雇用創出」、「創業支援」の推進
- ・県内伝統工芸品・地域資源の販路を開拓するため、デザイナー等との連携による新商品開発や首都圏及び海外を視野に入れた取組促進
- ・首都圏営業拠点「三重テラス」を活用した三重への誘客や販路をさらに拡大するための効果的な情報発信やネットワークの構築



伊賀くみひも・ネクタイ

「みえ産業振興戦略」の取組状況

戦略3 海外展開戦略(国際戦略)

- ・海外展開拠点の設置
- ・メイド・イン・三重ブランドの海外への売り込み
- ・海外展開向け金融支援制度の施応接
- ・海外見本市などへの県内企業の参加を促進
- ・新たなネットワークの構築地区や既存ネットワークなどを活用した県内企業の海外展開の促進 ～海外ネットワークの充実・拡大～



上海における展示商談会

戦略4 成長産業への攻めの取組

- ・クリーンエネルギーバレー構想の策定・推進
- ・スマートライフの促進による産業振興
- ・スマートアイランド構想の構築
- ・「ライフイノベーション」の推進
- ・「高度部材」産業の強化
- ・「次世代型コンビナート」の検討



熊野・マイクロ水力発電装置

これまでの取組

- ・三重県海外サポートデスクを「中国（上海）」(H24.7)と「タイ（バンコク）」(H24.9)に設置
- ・「みえ国際展開に関する基本方針」を策定(H25.9)
- ・台日産業連携オフィス（台湾）との産業連携に関する覚書の締結(H24.7)
- ・CSEM社（スイス）との連携オフィス設置(H25.1)
- ・ジェットロ(日本貿易振興機構)との「中小企業等の海外展開に支援に係る業務協力に関する覚書の締結(H25.5)
- ・「2013日台観光サミットin三重」(H25.3)の開催
- ・北米ミッション(H25.8)、ブラジルミッション(H25.8)、マレーシアミッション(H25.11)、ロンドンミッション(H26.5)による県内投資促進、産業交流・誘客の促進
- ・「三重県企業国際展開推進協議会(H26.5予定)」、「みえ国際展開推進連合協議会(仮称)(H26.7予定)」の設立、「オール三重」による海外展開を促進

これまでの取組

- ・成長産業として期待される「環境・エネルギー関連分野」の育成・集積を進める「みえグリーンイノベーション構想」を策定(H25.3)
- ・産学官の推進体制として「みえスマートライフ推進協議会」を設置(H24.10)し、「グリーンイノベーション推進部会」、「新エネルギー導入部会」、「地域モデル検討部会」を構成し、「エネルギー関連技術研究会」、「みえバイオリファイナリー研究会」、「メタンハイドレート地域活性化研究会」等を立ち上げ、具体策を検討
- ・「みえライフイノベーション総合特区」においては、MieLIP（みえライフイノベーション推進センター）を県内に開設し、製品開発支援を実施
- ・「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」に参画し、高度部材産業の強化を促進

課題

- ・三重県の強みを発揮できる分野及び国・地域に対する重点的かつ集中的な国際展開
- ・新たなネットワークづくりとこれまで構築したネットワークの活用
- ・「みえ国際展開に関する基本方針」のローリング等、重点地域等の位置づけや新規分野、海外拠点のあり方等適宜、戦略的な内容の見直し



ジェットロとの覚書締結

課題

- ・「みえスマートライフ推進協議会」活動を中心とする産学官連携の交流・連携などプロジェクト化に向けたネットワークづくりや国等の支援活用
- ・バイオリファイナリーのプロジェクト化を推進するうえで、新たなプレーヤーの参画
- ・メタンハイドレートについては、エネルギー関連産業の誘致など地域の活性化に結びつけるための検討が必要



木曾岬干拓地メガソーラー

「みえ産業振興戦略」の取組状況

戦略5 戦略的な企業誘致を推進し、 更なる県内への投資促進に挑戦

- 付加価値創出型施設（マザー工場等）の企業誘致の強化
- 「マイレージ制」企業立地支援制度の検討
- 「アジアの拠点化」をめざした外資系企業等の積極的な誘致
- グローバルアクセス強化の取組
- 地域資源の再発見などを通じた県南部への設備投資の促進
- 多様な人材を通じた設備投資の促進等



ロンドンミッション 対日投資セミナー

これまでの取組

- マザー工場化、成長産業・外資系企業・サービス産業や「人材」の誘致、県南部地域への投資促進、「マイレージ制度」などを柱とした新たな企業投資促進制度を創設(H25.3)
- 金融機関等と連携した投資セミナーの開催や、市町等が行うセミナーへの参画など、関係機関等と連携しながら本県の操業環境の魅力をPR
- 首都圏での県内立地企業との懇談会では、企業の投資動向の把握や操業環境に関する意見交換を行い、県内での再投資の動きかけや、操業の継続・拡大などに向けた課題を把握
- 「三重テラス」での投資セミナーの開催、日本GNIが主催する、CFKバレーやフラウンフォーファー等の研究機関等が参加した次世代産業高度化セミナーへの参加、大使館や米国商工会議所の訪問等さらなるネットワークの構築
- 「規制の合理化」など、操業環境の改善に向けた取組

課題

- 県内工場の高度化支援策や誘致ターゲットを明確にしたより効果的な企業誘致・設備投資促進策の構築
- 外資系企業誘致に積極的な地方自治体との連携による戦略的な誘致



シアトルミッション
ボーイング社 訪問

戦略6 振興戦略のプラットフォームの構築

- ネットワークの構築
（国内外のネットワーク、三重県営業本部のネットワーク）
- ひとつづくり（雇用施策との連動・人材育成）
- 中小企業・小規模企業の振興方針
- 三重県工業研究所（技術力向上支援）



2013日台観光サミットin三重

これまでの取組

- 海外ミッションの実施、海外自治体との連携・覚書の締結。北海道との産業連携（「産業連携推進会議」の設置）など、ローカル・トゥ・ローカルの取組
- 三重県営業本部による「三重の応援団」、「三重の応援企業」、「三重の応援店舗」の獲得
- 自動車関連産業の新たな展開を見据えた産業施策の展開とそれを雇用の拡大につなげる「戦略産業雇用創造プロジェクト」の取組（国の交付金の活用）
- 「三重県中小企業・小規模企業振興条例」の制定
- 工業研究所における人材育成のためのセミナー、研修の開催や民間企業との共同研究による新技術の開発

課題

- これまでの海外とのネットワークを、県内産業の振興に活用し、三重が持つ地域特性を最大限発揮できる連携先の拡大
- 次世代経営者を対象としたグローバルな視点を取り入れた人材育成
- 「若者」「女性」「障がい者」「高齢者」の就労推進
- 「三重県中小企業・小規模企業振興条例」に基づく、小規模企業に対する支援、三重県版経営向上計画の認定、人材の育成、資金供給の円滑化、創業や事業承継の促進など、中小企業・小規模企業の振興
- 工業研究所の現場巡回による「町の技術医」としてのきめの細かな支援の強化



サンパウロ州との姉妹提携
40周年記念共同宣言

「みえ産業振興戦略」の取組状況(みえ国際展開に関する基本方針)

第1章 世界経済の状況と三重県における国際展開の現状

1. 拡大する世界経済

- ・国内需要の減退→G8からG20、BRICS諸国・アジアなど新興市場の拡大
- ・世界的な国家間・地域間の連携の加速
- EPA、FTA、RCEP(東アジア地域包括的連携協定)
- TPP(環太平洋パートナーシップ)

2. 三重県の国際展開の現状と課題

- ・三重県企業の海外展開の取組は他県に比べ遅れている。
(これまで海外展開を行ったことがない:県内31.7%、県外19.8%)
- 拡大する世界経済や国内の取引構造の変化を見据え、企業の海外展開を推進する必要。
- ・県内観光事業者等において、これまでニーズが高くないインバウンド誘客。
- 国内の景気、季節変動、行事的要素に左右されない誘客構造への対応が必要。

第2章 国際展開に係る三重県のポテンシャル

1. 三重県の持つ多様な海外ネットワーク

○県のネットワーク

台日産業連携推進オフィス(台湾)、CSEM社(スイス)、アムシー地域(フランス)、フロンホーファー研究機構(ドイツ)、サンパウロ州(ブラジル)、河南省(中国)、バレンシア州(スペイン)、パラオ

○市町等のネットワーク

(中国)天津市、江蘇省鎮江市、蘇州市、無錫市濱湖区、(米国)カリフォルニア州ロングビーチ市、サンタバーバラ市、ワシントン州キヤマス市、(ブラジル)サンパウロ州バスタス市・オザスコ市、(フランス)ル・マン市、(イタリ)カンパニア州ソレント市、(カナダ)ブリティッシュコロンビア州プリンスルパート市 等

2. ファシリテーターとして活用可能な組織

- ・三重大学地域戦略センター(RASC)
- ・(公財)国際環境技術移転センター(ICETT)
- ・高度部材イノベーションセンター(AMIC)
- ・日本貿易振興機構(ジェトロ)三重貿易情報センター
- ・三重県海外ビジネスサポートデスク
- ・三重県外国人観光客誘致促進協議会

3. 世界に誇る産業集積と試作ものづくりの能力

- ・自動車関連、電子・デバイス、石油化学分野の企業が集積
- ・外資系企業が立地
- ・試作グループ等による高付加価値のものづくり

4. 世界に知られる観光資源

- ・忍者、真珠、海女など世界的に魅力ある資源

5. 三重の食文化と食材

- ・松阪牛、伊勢えび、など三重ブランド認定品を使った料理、マグロ、マダイなどの養殖魚、伊勢うどんなど郷土料理

三重県のポテンシャルを最大限に活かした国際展開の推進

世界経済の状況と三重県の国際展開の現状と課題を踏まえた国際展開の推進

第3章 国際展開に対する今後の取組の方向性

1. 基本的な考え方

○国際的に開かれた三重県文化の形成

○相手国・地域のメリットにもなる「Win-Win」の関係構築

○三重モデル(台湾との連携モデル)の横展開

2. 重点的に取り組むべき国・地域

○台湾、タイからアジア市場へ ○欧米パートナーとしての知的交流・企業誘致 ○東アジア地域・東南アジア諸国からの誘客強化

(1)アジア経済圏(ASEANを除く)

○台湾[重点地域]

- ・三重大学のプロジェクト推進、産業交流、物産展の開催
- ・「三重宣言」に基づく観光交流の推進

○中国

- ・ICETTを活用した環境技術の展開、製造業向け展示会出展、県産品の販路拡大

○韓国

○インド

(2)ASEAN

○タイ[重点国]

- ・タイ投資委員会(BOI)とのMOU締結
- ・ICETTを活用した環境技術の展開、アジアのサプライチェーン参入
- ・物産展開催による販路拡大

○ベトナム、マレーシアなど

- ・海外誘客
- ・県産品の販路拡大

(3)北米・欧州

○米国

- ・ワシントン州との交流 ・企業誘致
- ヨーロッパ(スイス・ドイツ・フランス)
- ・知的交流の推進 ・海外誘客

(4)友好提携都市等

○ブラジル

3. 国際展開のためのプラットフォームの構築

(1)既存の行政間ネットワークのフォローアップと新たな戦略的構築

- ・既存のネットワークの強化と市町の海外ネットワークの活用
- ・タイ投資委員会(BOI)とのMOU
- ・RASCとサウスシアトル・コミュニティ・カレッジ(SSCC)とのMOU

(2)国際展開の推進体制(ファシリテーター等)の整備

- ・ICETTのネットワーク再構築と活用
- ・AMICでの連携プロジェクトの推進
- ・RASC、ジェトロ等支援機関間の連携強化
- ・ジェトロ、金融機関、商社との連携

(3)人材育成、啓発

- ・グローバル人材の育成(企業向けセミナー、留学生マッチング、商社OB等)
- ・「みえ国際展開モデル事例集」(仮称)の策定

4. 各分野(海外展開、外資系企業誘致、海外誘客)における取組方針

○「ものづくり」(製造業)と「サービス産業」(非製造業)を産業の両輪と捉えた国際展開

(1)三重県企業の海外展開(直接投資、輸出)に対する支援

- ・三重県海外ビジネスサポートデスクの機能強化
- ・ICETTを活用した環境技術の展開
- ・「食」に関わる産品、伝統工芸品の積極的展開(メイドイン三重の売り込み)

(2)外資系企業の誘致に対する支援

- ・外資系企業の生産拠点・研究開発拠点の誘致
- ・高級ホテル等外資サービス業の誘致

(3)海外からの誘客促進

- ・産業、物産との連携によるブランド発信
- ・広域的に連携した誘客活動(例:昇龍道プロジェクト)
- ・三重県の留学生・外国人ネットワークを活かした魅力発信